



「秋の夜長に読書をしよう」なんてフレーズは、遠い昔のことになってしまったのでしょうか。先日の愛媛新聞に「**読書しない子、10年で1.5倍**」という記事が出ていました。スマートフォンの使用時間が長いほど読書時間が短く、小学生、中学生、高校生と進むほど読書をしないという人が増えているという結果でした。

～1日に全く本を読まない子ども(%)～

～1日のスマートフォン時間(分)～



一冊の本との出会いが、人生を変えることがある。

一人の人間がその人生で出会う人は限られている中で、本の中では様々な人間に出会うことができます。また、読書は知識を得るだけでなく、考える力も育ててもくれます。ただ、読書の大切さはわかってはいるものの、簡単に楽しい情報が手に入るスマートフォンが定着した現代では、特に若い人はそっちの方に流れていく傾向にあります。本を読むことを難しく考えないで、テレビを見るようにスマートフォンを使うように習慣にしてしまえばいい。何事もバランスが大事。スマートフォンを見た時間の後に、静かに本を読む時間をちょっと作ってみてください。テレビやスマートフォンにはない本の良さ・深さを発見できると思いますよ。

読書習慣

自分に
合った方法で
少しずつ

○見える所に本を置いて、本に触れる機会を増やそう。

○興味のある、心からおもしろいと思える本を選ぼう。

○読書時間を決めて、まずは1日10分から始めよう。



○読んだ本の内容を人に話したり、メモしたりしよう。



○定期的に本屋や図書館に行ってみよう。

土曜塾に 高校生サポーター参加!

10月から、宇和島南中等教育学校5年生の**福島櫻也(さくや)**さんが鶴島・明倫教室で小学生の学習指導のサポートを行うことになりました。



参加の理由は、将来、小学校の先生になりたいと思っていたので、そのための貴重な経験ができると思ったからです。趣味はサッカーとギターを弾くことです。得意教科は国語です。明倫教室の印象は、休み時間はしっかり遊ぶけど、授業が始まると集中して勉強ができる、メリハリがあるなと感じました。よろしくお願いします。